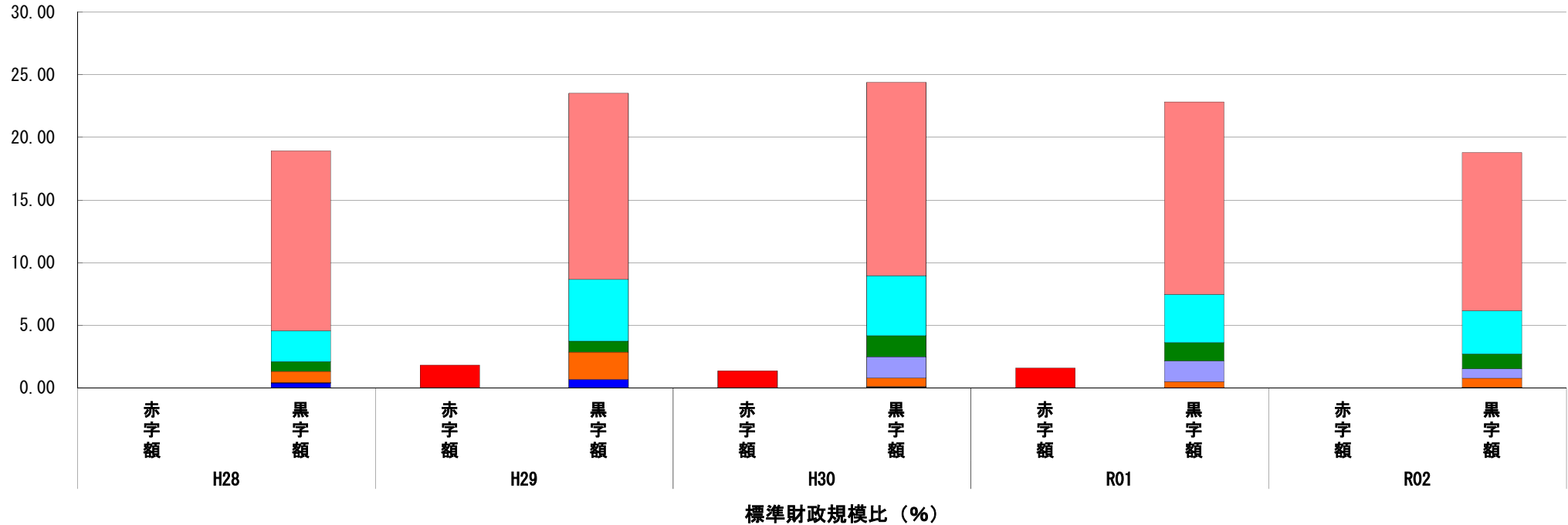


(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和2年度

岡山県笠岡市

標準財政規模比（％）



会計	年度	H28	H29	H30	R01	R02
笠岡市水道事業会計		14.36	14.87	15.43	15.37	12.65
一般会計		2.48	4.93	4.81	3.86	3.45
笠岡市介護保険事業特別会計		0.77	0.87	1.68	1.46	1.18
笠岡市下水道事業会計		-	-	1.68	1.66	0.75
笠岡市国民健康保険事業特別会計		0.91	2.19	0.70	0.46	0.73
笠岡市国民健康保険真鍋島直営診療施設特別会計		0.00	0.00	0.00	0.01	0.02
笠岡市後期高齢者医療特別会計		0.01	0.00	0.02	0.00	0.01
笠岡市へき地診療施設特別会計		0.01	0.00	0.01	0.01	0.00
その他会計（赤字）		-	▲ 1.81	▲ 1.36	▲ 1.58	-
その他会計（黒字）		0.38	0.67	0.06	0.00	0.00

分析欄

令和2年度においては、全体で黒字額は前年度より減少している。主な要因は水道事業において、新型コロナウイルス感染症対策事業として水道料金の減免を行ったことにより、営業収益が21.6%減となったことや、一般会計において、単年度収支のマイナスが大きかったことなどである。

なお、病院事業会計においては平成29年度から令和元年度まで赤字となっていたが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症に係る減収の補てんのために特別減収対策企業債を借り入れたことや、医業収益が増加傾向となったことなどから、資金不足が解消された。

※令和3年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。